



つながりを大切に

2月初旬は、一年で一番寒い時期ですが、暦の上では2月4日が「立春」です。確かに、冬至の頃よりぐっと日が長くなっているのを感じます。

新型コロナウイルス感染症に関しては、デルタ株からオミクロン株への置き換わりが進み、感染力の強さが懸念されています。学校生活や研修等においても、人数制限など、密になることを避けながらの活動が行われています。

マスク越しの会話や、直接会えない状況が続いておりますが、子ども同士のつながり、大人と子どものつながり、大人同士のつながり、どれも大切にしたいものです。特に、この時期は、学年間や幼小中高のつながりがとても大切にされる時期です。子どもたちが、来年度、次のステップに向けて安心して進んでいけるよう、それぞれの立場で心のつながりを大切にしていきましょう。

※時間のみ記載の研修会の場所は、下野市庁舎です。

※市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更となる場合があります。

【2月の予定】



日	月	火	水	木	金	土
		1 全日制特色選抜 願書等提出 (1/31~)	2	3	4	5
6	7 青葉学力検査 全日制特色選抜	8 児童生徒指導 研修会 (オンライン)	9	10	11 建国記念の日	12
13 	14 青葉合格者発表 全日制特色選抜 内定者発表	15 新聞の日⑤	16 市定例校長会議⑨ 9:00~	17 就学児情報交換会 しもつけ風土記の 丘資料館 15:00~	18 定例教育委員会 全日制・特別支援学 校一般選抜願書等 提出期間(~2/21)	19
20	21	22	23 天皇誕生日	24 市教務主任研修⑥ 15:00~	25	26
27 	28					

下野市教職員全体研修会

1月19日（水）に、教職員全体研修会を開催しました。初めてのオンラインでの開催となり、ご負担をおかけしましたが、先生方のご協力のお陰で、無事に実施することができました。今年度は、平成31（令和元）年度より3年間、各中学校区で行われてきた小中一貫教育のまとめと、国分寺中学校区における「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」について、発表していただきました。

1. 小中一貫教育

どの中学校区も、目指す子ども像を共有しながら、児童生徒間の交流や、教職員間の交流、学校と地域が一体となって子どもたちを育てる取組等、小中連携教育の頃から大切にしてきた、地域の特色を生かした教育について、発表していただきました。発表を通して共有できたことを、今後の小中一貫教育のより一層の充実のため、生かしていただければと思います。



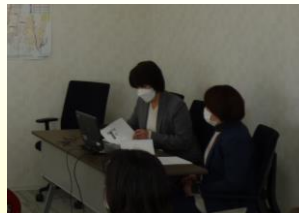
南河内中学校区

実践研究
「コミュニケーション能力の育成」



南河内第二中学校区

実践研究
「理数教育の充実と推進」



石橋中学校区

実践研究
「心の教育」



国分寺中学校区

実践研究
「学び合いを支えるコミュニケーション能力の育成」

2. 頑張る学校・地域！応援プロジェクト 国分寺中学校区

県の指定事業として令和2年度に実施された国分寺中学校区での取組「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」について、国分寺中学校の石崎真清先生に発表していただきました。

国分寺中学校区で大切にされてきた「新たな取組を始めるのではなく、今まで行ってきた取組を、改めて『学校と地域の連携』という視点で見直し、組織的に取り組んでいく」ということを、下野市全体で生かしていきたいものです。

学校と地域の連携を進める際には、教育課程全体を教科横断的に見直し、連携を図ることができる内容について吟味することで、連携できる地域の方々や具体的な内容が見えてくることもあるのではないのでしょうか。

また、発表の中で、「小中一貫教育と関連させることで、小・中学校がもっている情報や人材等を共有し、活動に取り組むことができた。」という成果が挙げられていました。中学校区内での連携や交流を深め、情報を共有したり、地域で育成を目指す資質・能力を確認しながら、各教科等や各学年の指導について考えたりすることで、ネットワークが広がり、子どもの学びも繋がっていきます。

今後も、それぞれの中学校区において、学校と地域が一体となって子どもたちを育てる取組を工夫していきましょう。



ボランティア・サークルによる読み聞かせの様子

※本内容は、1月28日（金）にオンラインで行われた栃木県教育研究発表会の「魅力ある学校づくり部会」においても、「『地域とともにある学校づくり』に向けた連携・協働活動への取組」と題して、石崎先生が発表されました。